

平成 28 年 11 月 30 日

お取引先様各位

シュタープ株式会社 食品事業部
新潟県新潟市北区木崎字尾山前 871-16
TEL : 025-388-0111
FAX : 025-388-3810
担当 : 石川 健二

高原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認につきまして

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。標記の件につきまして、平成 28 年 11 月 28 日、30 日と新潟県内養鶏場にて高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について報道がされております。この件につきまして下記の通りご報告致します。引続き倍旧のご厚情を賜りたくお願い申し上げます。
敬具

記

新潟県が発表したところによりますと、新潟県の養鶏場 2 箇所において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認したとのことです。現在以下の措置が実施されております。
(1) 当該農場の飼養家きんの殺処分及び埋却、(2) 農場から半径 3 km 以内の区域について移動制限区域の設定、(3) 半径 3 km から 10 km 以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。弊社におきましては、当該農場 1 箇所からの仕入はございましたが、現在当該農場からの入荷を制限しております。並びに明日以降の出荷に於きましても、当該農場の製品に於いては出荷を制限致します。お客様の受注に対しましては、他産地の製品の納入にて対応させていただきます。しかしながら、現在の発生状況を踏まえますと、今後の受注に於いて一部調整等お願いする場合がございますので、何卒この状況下をご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

尚、農林水産省のプレスリリースにも掲載されているとおり、我が国ではこれまで家きん肉や家きん卵を食べて鳥インフルエンザウィルスに感染した例は報告されておられません。家きん卵は国内では生で食べることを考えて生産されておりますが、不安な方や体調の悪い方は加熱することをおすすめ致します。(食中毒防止の為の加熱条件 中心部 70℃・瞬間) 鳥インフルエンザウィルスはサルモネラ菌よりも熱に弱いとされております。
お取引先様に於かれましては風評に惑わされることなく引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上